

2015 JNNS 総会議事録

日程 2015/9/4 16:40-18:00

場所 電気通信大学

- 総会の成立について
委任状 130 + 出席者 71 名なので総会は成立した

- 年次活動報告(酒井会長)
JNNS の年次活動報告として以下の活動に関して酒井会長からの説明が行われた
 - 全国大会
 - 各種スクール支援 (春・夏・秋)
 - 時限研究会などの支援
 - 「脳と心のメカニズム」参加助成
 - 学会誌、英文誌、電子化

- 会計報告 (佐藤俊治理事、鹿毛会計監査)
 - 収支の改善が見られるが Neural Networks の払戻金における為替の影響が大きいとの報告があった.
 - 会計監査(鹿毛理事)により、今年度の会計について適正な支出であることを確認されたとの報告がされた.
 - 次に佐藤理事より 2015 年度の予算の説明がなされ、収入においては論文募集が停止になったために変更が生じていること、支出においては APNNS 設立準備金として活動費、設立補助費が計上されたことが説明された.

- 事業報告
 - 和文誌報告 (鮫島理事)
編集委員長の交代が理事会で承認されたことと編集委員は理事から選出すること報告された.
 - Neural Networks 誌 (黒柳理事)
2015 年 8 月現在で 172 件の投稿 (中国 88 件, インド 43 件, 日本 12 件) があり, IF が 2.7 に改善したことが報告された
 - 主催セミナー (黒柳理事)
Deep learning セミナーに 112 名の参加者があり盛況に終わったこと, 時限研究会として共催 1 件、協催 3 件があり, 2016 年度も引き続き募集する旨告知された.

- 若手支援（鮫島理事）
スプリングスクールの学生宿泊費・食事代として 27 万円の補助がなされたこと, ASCONE2015 について 120 万円の補助を予定していること, 冬の WS について 40 万円の補助を予定していることが報告された.
- 国際関係（酒井会長）
APNNS が今年 11 月に発足を予定しており, 現在会員数は, 227 名となっていることが報告された.
- 脳科連について（酒井会長）
マスタープラン 2017 を策定し, 関係分野への予算獲得を目指す活動を実施することが説明された.
- ICONIP2016（西川理事）
2016 年 10 月 16 日～10 月 21 日に京都大学で開催される.
- 選奨報告（選考委員長西川理事）
西川理事より, 規程に従い, 論文賞, 優秀研究賞, 大会奨励賞がそれぞれ選奨されたことが報告された.
- 選奨表彰（酒井会長、西川理事）
本会に受賞された方のうち 15 名のご列席をいただき、酒井会長より賞状をお渡しするとともに、一言ずつ受賞のコメントをいただいた.